

2011年4月開講
朗読教室のごあんない



NPO(特定非営利活動法人)

日本朗読文化協会

飯島晶子 朗読教室

～心に響く作品を声に託して！～

◆日時：月1回原則第3土曜日

2011年4月30日、5月21日、6月4日、7月16日、
8月27日、9月17日 前半コース 13:00～
後半コース 14:30～ (終了時間は人数により変更あり)

◆チケット制 (5回分)：21,500円

◆会場：赤坂教室 (クイーンルーム)

◆参考図書：『声を出せば脳はルンルン』清流出版
(教室でも購入できます)



あなたの十八番をつくってみませんか！ご自分の心に響いた作品を持ち寄り、朗読をする楽しさをまず感じ、それぞれの作品の世界を深めていきましょう。読みたいと思う本をお持ちください。(こちらでもご用意はあります)発声・呼吸の基礎も確認し、朗読の世界をどんどん広げましょう！

プロフィール (飯島晶子 いいじまあきこ)

心の震える朗読ステージを！と活動。日本大学芸術学部卒、NPO日本朗読文化協会理事。お茶の水音声教育会員。文化庁芸術祭参加公演、愛知万博「アンデルセン童話」、「被爆ピアノ朗読コンサート」など企画、行政、学校での公演、こどもたちとの朗読活動「ろうどくの森」展開。自由学園明日館・日本ナレーション演技研究所などで講座。清流出版「声を出せば脳はルンルン」日本実業出版社「伝わる声の出し方話し方」CD/DVDキングレコード「源氏物語」光村「中学生国語教科書」など出版多数。Voice K代表。

河崎早春 朗読教室

イメージを言葉にのせて

◆日時：毎月第1木曜日 (原則)

但し、4月14日、5月12日は第2木曜日
10:00～13:00 (人数によって変更あり)

◆チケット制 (5回分)：20,000円 (会員) 22,500円 (一般)

◆会場：赤坂教室 (クイーンルーム)



「何を読んでも同じ、メリハリがないと言われる」それはイメージが掴めなくて呼吸が変わらないからです。作家や作品によっても息づかいは違ってくるはず。その方法を一緒に考えてみましょう。ひとり一人に合わせて指導するため、出欠及び遅刻早退を必ず事前に連絡下さい。地方の方のみ、一回の参加も可。チケットは購入日から1年間有効。希望者で発表会も予定しています。

プロフィール (河崎早春 かわさきさはる)

俳優、ナレーター。劇団テアトル・エコー養成所3期生。演劇集団「A・Tラボ」同人。20代のはじめ、俳優の白井正明氏、故蔵金四郎氏らに朗読の指導を受けたのがきっかけとなり朗読を始める。これまで数多くのテレビ番組の司会やナレーション等の仕事に携る一方で、芝居、朗読、語り・・・文芸作品から軽いタッチの作品まで、枠に捕らわれないスタイルで舞台をつくる。ギィ・フォワシ短編劇コンクール優勝。NPO日本朗読文化協会会員、日本ペンクラブ会員。『おしゃべりなスーツケース』(PHP研究所)他、日本語やスピーチに関する著作も多い。

熊澤南水 朗読教室

樋口一葉の名文を読む

◆日時：2011年4月15日、5月20日、6月24日、
7月15日、9月30日の各金曜日 全5回
13:00～16:00

◆定員：15名 (15名以上の場合は13:00～15:00、15:00～17:00の2教室)

◆受講料：20,000円 (会員) 25,000円 (一般)

◆会場：亀戸文化センター



「にざりえ」樋口一葉 作

雅俗折衷体とも言われる、流麗な一葉文学の文体を紐解きながら、底に流れる作者の思いを探ってみませんか。

プロフィール (熊澤南水 くまざわなんすい)

1983年東京「可否の会」に入会。三上左京氏の指導を受ける。幼い日から心に秘めてきた「ことば」へのこだわりを、舞台朗読という道に見出し活動を始める。原作にはあくまで忠実に、「心にしみることを伝えたい」・・・と全国各地で公演。一葉作品を含むさまざまな文学作品を題材とした「南水ひとり語り」を続けている。博品館劇場、三越劇場等での公演多数。初の試みで2007年「語り」とオペラの共演。91年国際芸術文化賞受賞。

内藤和美 朗読教室

表現としての朗読は新たな自分との出会い

◆日時：2011年4月11日（月）から全5回
第2月曜日（原則） 13：30～16：00

◆定員：12名
◆受講料：17,500円（会員）20,000円（一般）
◆会場：赤坂教室（クイーンルーム）



「一塊の土」芥川龍之介 作

～心揺さぶる作品に出会う。声に出してみた。イメージネーションが広がった。聴き手が現れた心の交流が生まれた。新たな感動が芽生えた。～積み重ねた人生経験を糧に表現としての朗読をしてみませんか。その為には瑞々しい感受性と確かな自分の声が必要です。今回は芥川龍之介 32歳の時の作品「一塊の土」を取り上げます。永遠のテーマに迫った作品です、ご一緒しませんか。

プロフィール（内藤和美 ないとうかずみ）

故今福祝氏に「アナウンスメント」故高橋博氏・故山内雅人氏に「朗読」故小金井芦州氏に「講談」を学ぶ。アナウンスアカデミー、Kプロダクションを経て現在話芸集団「ぶれさんぼうず」に所属。NHKFM、ラジオCMにも携わった一方「語りの会ばてふり」「えん」「朗読の会ことのは」など定期公演に出演「ハートストリングス語りと朗読の会」は公演数45回を数える。ここ10年来文化庁芸術祭にも参加している。よみうり文化センター、フジテレビアナウンストレーニング朗読講座、放送表現教育センター・他で指導にもあたっている。「西澤實の朗読の教科書」付属CDに朗読者として参加。（NHK出版）朗読作品の一部紹介「隅田川」「清経」「山椒太夫」「敦盛」「女殺油地獄」「葛飾砂子」etc.

詩村三枝子 朗読教室

自由な朗読のために、発想の枠を取り払おう！

◆日時：2011年4月18日から全5回
第3月曜日 14：00～16：30

◆定員：15名
◆受講料：17,500円（会員）20,000円（一般）
◆会場：赤坂・新橋



「薨問答」山本周五郎 作

あなたが作品に持つイメージを、もっと広げてみませんか。山本周五郎の作品を題材に、あなたの、声の奥行き、発想の幅を広げてみましょう。作品の持つリズムやテンポを体感する為に、少し体を動かしながら声を出すところから始めます。

プロフィール（詩村三枝子 まきむらみえこ）

青山杉作記念俳優養成所卒業。養成所時代より、狂言、古典の語りを和泉流狂言師石田幸雄に師事する。劇団《風》を経て、現在は壤晴彦が主宰する演劇倶楽部『座』の活動に参加。また、ラ・ベジブル主宰として、演劇、朗読の公演企画制作を行い、2000年から始めた一人芝居「広島にチンチン電車の鐘が鳴る」は各方面から注目を集め、以後、毎年感動の舞台を続けている。

宮崎弥生 朗読教室

音声講座

◆日時：2011年5月6日から毎月第1金曜日 全5回
14：00～16：00（原則 但し7月は1日、29日2回、8月休み）

◆受講料：10,000円（会員）12,000円（一般）
◆会場：赤坂教室（クイーンルーム）



「とてもいい朗読なのに音声面がちょっと・・・。これを直せばさらにグレードアップするのに惜しいな」と思うことがあります。朗読を始めたけれど、アーティキュレーションが悪い、アクセントがおかしいなどと言われたことはありませんか。また鼻濁音や無声化ができていないと注意されるけど自分ではわからないということはありませんか。あるいは自分は東京出身だし全く問題ないけれど、ひとに教えてあげられないということはありませんか。日本語のアクセントには、法則があります。それを習得したい方のための講座です。

プロフィール（宮崎弥生 みやざきやよい）

司会者、ナレーター、放送タレント、日本語教師と日本語の音声を使う仕事にずっと携わり、その音声をシステムティックに学び研究してきた。(株)日本語教育学会会員、カルチャーセンター朗読講師、鬱病セルフケアDVD日本語吹き替え、瀬戸内寂聴 源氏物語「桐壺」CD収録、朗読グループ「オリオン」会員。

- ◆日時：2011年4月8日から全10回
原則第2・4金曜日 13:30～16:30
- ◆定員：約20名

- ◆受講料：48,000円（会員）53,000円（一般）
- ◆会場：港区内
- ◆協力：神田外語大学「声のことばの勉強会」



4月期は、楽しい朗読の基本となる呼吸法・発声法・リズム・テンポ・間（ま）・イントネーション・滑舌法等の基礎訓練と並行して、日常生活や体験をテーマにした詩や随筆、民話や物語、小説や戯曲の朗読実習。

“楽しい朗読”には幾つかの意味があります。まず「朗読するのが楽しい」。次に「朗読を聞くのが楽しい」。三つ目は、「朗読クラスに行くのが楽しい」。そして四つ目は、「朗読会を企画し開催するのが楽しい」です。つまり、朗読の楽しみ方は、いろいろとあるわけで、だから、総称して“朗読は楽しい”となります。そのそれぞれの楽しみ方のすべてを欲ばって、実習・体験しようというのがこのクラスの目的です。そしてある時、楽しい朗読の秘訣は、ぜんぶ、私たちの身のまわりの日常の中にあるのだ、ということに気づくのかも知れません。

プロフィール（児玉朗 こだまろう）

神田外語大学異文化コミュニケーション研究所研究員。同大学「声のことばの勉強会」主宰。かたりよみ研究所『創造の会』代表。上智大学外国語学部卒。1960年代に、演劇と朗読を山本安英と木下順二から、狂言を野村万作から学ぶ。レパトリーは源氏物語・今昔物語・平家物語などの古典、鷗外・漱石・龍之介・賢治・中島敦などの近代作家、木下順二・野間宏等の戦後作家の作品。群読では1968年の『平家物語』による群読一知盛初演に参加以来、一貫して、舞台および教育の現場で新しい試みに挑戦している。

加賀美幸子 《古典を楽しく読む会～『枕草子』・『徒然草』》

- ◆日時：2011年4月4日（月）から全5回
原則毎月第1月曜日 13:00～15:00
（但し 5月16日は10:00～12:00）

- ◆定員：30名
- ◆受講料：15,000円（会員）
- ◆会場：赤坂



生き方の鍵を『徒然草』から読みとり、『枕草子』から朗読の楽しさを味わう。

★「朗読」は申し上げるまでもなく、読み方だけではなく、レベルアップをするためには、その部分だけでなく、古典の心と力を広く深く楽しく易しく味わうことこそ近道です。

★新年度4月期は同じ随筆であり、『枕草子』を意識して書いたとも言われる吉田兼好の『徒然草』もとり上げます。『徒然草』には今を生きる鍵があふれています。一方『枕草子』はだいたい読み進めましたので、新年度4月期からは朗読という面にも時間を長くとりまします。

プロフィール（加賀美幸子 かがみさちこ）

NHK番組キャスター・千葉市女性センター名誉館長。1963年アナウンサーとしてNHK入局。女性初の理事待遇となる。「大河ドラマ」「NHKアーカイブス」「ラジオ深夜便」「短歌・俳句スペシャル」「古典講読」など様々な番組を担当。現在も「徒然草」他、アナウンサーとして中広く活躍。朗読、特に古典朗読はライフワーク。著書に『こころを動かす言葉』『生き方の鍵を見つける』『源氏絵物語～原文朗読つき』他。NHK会長賞。ダイヤモンドレディー賞、前島（密）賞、徳川夢声市民賞など受賞。

◆申込方法

受講を希望される方は、別紙「朗読教室申込書」にご記入の上、協会事務局宛にFAXでお申込ください。

事務局 FAX 番号：03-3584-4452

◆お問合せ先

NPO 日本朗読文化協会

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂3-8-8 赤坂フローラルプラザビル3F
TEL：03-3584-4451 FAX：03-3584-4452
e-mail：npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/